



2021年5月14日

各 位

会 社 名 オリエンタルチェン工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 西村 武  
(コード番号：6380 東証第二部)  
問合せ先 管理部 マネージャー 金谷 武志  
(TEL 076-276-1155)

## 大同工業株式会社との業務提携に関する基本合意書締結のお知らせ

当社は、本日の取締役会において、下記のとおり、大同工業株式会社（本社：石川県加賀市、以下「D I D社」という。）との間で、産業機械用チェーン及び関連製品の分野における業務提携に関する基本合意書を締結することを決議するとともに、同日に締結しましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 業務提携の基本合意に至った理由

国内のものづくり企業を取り巻く環境は、製造のグローバル化に伴う国内市場規模の縮小傾向によって、業界内での競争激化に拍車がかかりつつあり、今後、持続的な成長のためにはこれまで以上の高度化と柔軟性が求められる環境になりつつあります。

当社は、産業機械用チェーン、コンベヤチェーン、スプロケット類及び金属射出成形関連製品の製造・販売を主とした事業活動を展開しており、2020年12月10日に公表しました3か年中期経営計画に記載の通り、①チェーン事業の営業活動強化、②製造、管理コストの低減、③金属射出成形事業の増強を基本方針として事業拡大に向けて取り組みを推進しております。

一方、D I D社は、従前より二輪、四輪、産業機械の3つの分野で事業を展開し、成長市場・成長分野の取り込みによる拡大と技術の進化による市場開拓を目指しております。

産業機械用チェーン分野においては、高機能・高付加価値製品の販売拡大と新製品開発に注力しつつ、多岐にわたるニーズが存在する特殊市場（包装、食品、窯業及び物流市場）の取り込み強化を重点施策と位置付けておられます。

このような環境の下で、両社が有する生産面・技術面における強みを共有し、効果的に活用することで、売上拡大や生産効率及び技術力の向上につながり、両社の目標達成の効率化および早期化が期待され、さらには相互の事業拡大に向けたシナジー効果が期待できるものと考え、両社間の業務提携について具体的な協議を進めるため、基本合意書を締結するに至りました。

#### 2. 業務提携に関する基本合意の内容

- (1) 当社とD I D社は、産業機械用チェーン及び関連製品の分野において、主として以下の項目の実現に向けて、具体的な提携内容の協議を推進してまいります。

- ① 相互製品供給によるラインナップの補完及び拡充
- ② 相互生産委託による生産効率向上
- ③ 相互技術交流及び協力による技術向上

上記項目に関する両社の役割分担等の詳細は、引き続き両社の間において協議を推進し、今後決定される予定です。

## (2) 当該業務提携に伴う売上目標

D I D社と整合している内容ではありませんが、当社としましては、5年後を目途に現状の1.5倍程度の売上規模を目標として、業務提携協議を進めてまいりたいと考えております。

## 3. 業務提携の相手先の概要

(1) 名 称	大同工業株式会社
(2) 所 在 地	石川県加賀市熊坂町イ 197 番地
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 新家 啓史
(4) 事 業 内 容	二輪車及び四輪車部品、産業機械部品等の製造販売
(5) 資 本 金	35 億 36 百万円
(6) 設 立	1933 年 5 月
(7) 決 算 期	3 月
(8) 拠 点	国内 生産拠点 3ヶ所、国内 営業拠点 8ヶ所 国内 連結子会社 2社、海外 連結子会社 15社
(9) 従 業 員 数	連結 2,282 名 (2021 年 3 月 31 日現在)
(10) ホ ー ム ペ ー ジ	<a href="https://www.did-daido.co.jp">https://www.did-daido.co.jp</a>

## 4. 業務提携の日程

(1) 取締役会決議日	2021 年 5 月 14 日
(2) 基本合意書締結日	2021 年 5 月 14 日
(3) 業務提携契約締結日	2021 年 10 月 (予定)

## 5. 今後の見通し

本日公表した 2021 年 3 月期決算短信に記載されている 2022 年 3 月期の業績予想に関しては、本件に伴う影響はありません。

以上